

競 技 注 意 事 項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、メイン競技場、補助競技場、多目的広場および雨天練習場を原則とする。

①メイン競技場

- ア.トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- イ.利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- ウ.ハードル等の道具を利用しての練習はできない。
- エ.円盤投、ハンマー投については競技開始の60分前から現地で練習を行うことができる。

②補助競技場

- ア.レーンの使用については以下の通りである。
 - ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ・ブロックを使用時のスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
 - ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
 - ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。
- イ.道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。
- ウ.投てき競技（砲丸投のみ）の練習はトラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。その際、係員の指示によって行う。

※本年度は、7月14日（日）12時50分～小学生招待リレーを実施する関係で、10時45分～12時20分までは第2コーナー付近から第3コーナー付近の3～6レーンを小学生専用（コーン規制あり）として使用します。小学生・チーム関係者以外は多目的広場側直走路を使用すること。

③多目的広場

- ア.投てき競技（やり投のみ）練習ができる。
- イ.道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。
- ウ.多目的広場入口付近において、メディシンボールの使用はできるが、安全に注意すること。

④雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

⑤棒高跳について

競技開始80分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

⑥投てき練習は、該当種目の招集完了時刻以降の練習はできません。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- ・アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ・トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。
- ・3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。
※別ナンバーカードは招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。
※棒高跳・円盤投・ハンマー投は、現地で招集を行う。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④リレーのオーダー表は招集完了時刻1時間前までに提出のこと。
※一度オーダー用紙を提出したら、その後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
- ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、2種目同時出場届を競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④TR16.5（不適切行為）が認められた場合は、審判長の判断により「イエローカード」が出されることがある。同じ競技会の中で2度の規則違反があった場合は失格となる。
- ⑤スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑥短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑦男子5000mは、グループスタートで行う。
- ⑧トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。
- ⑨レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑩4×100mリレーのマーカ―は主催者が用意したものを出発係より受け取り、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカ―はそのチームで処理すること。
- ⑪4×400mリレーに出場するチームの第2～第4走者は、胸に別ナンバーカードを使用する。また第2・第3走者は通過順位確認のため、パンツの左横や後方につけること。別ナンバーカードは招集所で配布する。
- ⑫予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を大型映像装置で掲示する。
- ⑬競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

⑭男子5000mW・女子5000mWについては下記の時間を越えて最終周回に入らない。

男子5000mW：25分、女子5000mW：30分、

⑮選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない
コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。

選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

⑯フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れを行いたい場合については、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

⑰小学生招待リレーの不正スタートについては下記の通りとする。

「スタートは、同じ競技者が2回不正スタートをしたときに、その競技者を失格とする。」

⑱小学生のスタートコールは、イングリッシュコールとする。「On your marks」、「Set」

6 競技用具について

①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。やりの検査は競技開始60分前に第1ゲート付近にて実施する。

個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行う。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳、三段跳

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

		練習									以降	
走高跳	男子	165	170	175	180	183	186	189	192	195	3cm刻み	
	女子	140	145	150	155	158	161	164	167	170	3cm刻み	
棒高跳	男子	330	340	360	380	390	400	410	420	430	10cm刻み	
	女子	190	200	210	220	230	240	250	260	270	10cm刻み	

※練習跳躍のバーの高さは審判と参加選手で協議し現地で判断する。

第1位決定のために行うバーの上げ下げは、

走高跳 2cm

棒高跳 5cm 単位とする。

9 三段跳の踏み切り位置について

踏み切り板の位置は、男子 12m00、13m00、女子 9m00、10m00の地点に設置する。

※ただし、一度決定した踏切位置を変更することはできない。

10 表彰について

各種目1～3位までに入賞した者またはチームに賞状を授与する。入賞者は競技終了後、すぐにエントランスホールに集合すること。

11 四国選手権調査書について

各種目で8位までに、入賞した選手は、エントランスホールにて四国選手権調査書を必ず記入し、提出すること。 ※出場の意志がない場合も必ず提出すること。

12 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、競技場メインスタンド下通路を入れて左側にあるので利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認すること。
- ⑤プログラム配布は競技場内、南エントランスの大会受付にて行います。
- ⑥参加料については、大会受付にて所属内でまとめて一括納入をしてください。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR